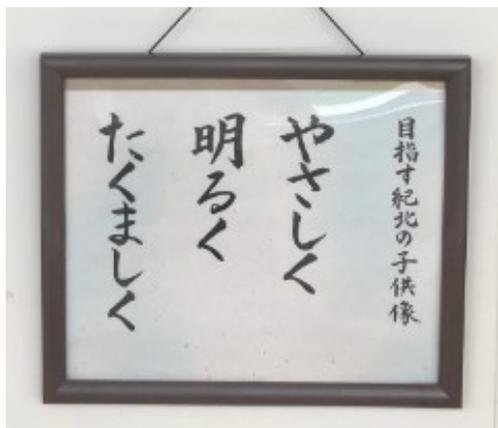


令和3年9月15日（水）



校長室の入口に「目指す紀北の子供像」が掲げられています。玄関前にも同じように掲げられています。

これは、2年前の令和元年12月、多くの教職員からの「思い」を反映して作られたものです。

この「目指す子供像」は、教職員は勿論、子供たちにもわかりやすいことばで、読みやすくリズム感があることを大切にしました。保護者や地域住民の方々にもわかりやすく、なじみやすい表現になっています。子供たちが社会に出ていく際、必要な「生きる力」につながる文言で、教育方針や教育目標につながるようにと、作られました。

「子供像」がめざす願いとして、

「やさしく」には、他人に「やさしく」思いやりをもって接する心を養うこと。他人を尊重すること。また、人（先生、親、家族、友達など）の「やさしさ」を感じ取れること。笑顔で応える等、表情で応える力をつけてほしい。という願いが込められています。

「明るく」には、前向きに挑戦すること。もてる力を可能な範囲で出す勇気、明るく接する気持ちや態度をもってほしい。という願いが込められています。

「たくましく」には、現実や変化の激しい社会の中で、自分の居場所を見つけ、自分の力を信じ、可能な限り培ってきた「力」を発揮する「たくましさ」をつけてほしい。という願いが込められています。

皆さんにも本校教職員の「思い」が伝わっていくことを願っています。